

知り合う

あなたは、決断を下す前にすべての事実を確認して「100%確信」を持ちたいタイプですか？それとも、とりあえずやってみて、どうなるか見てみようという「成り行き任せ」でも平気なタイプですか？生活の中で、少しの不確かさも許せない（はっきりさせたい）と感じることは何ですか？

聖句　ヨハネの手紙一 5:6-13（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

6 この方は、水と血を通って来られた方、イエス・キリストです。水だけでなく、水と血とによって来られたのです。そして、霊はこのことを証しする方です。霊は真理だからです。 7 証しするのは三者で、 8 霊と水と血です。この三者の証しは一致しています。 9 私たちが人の証しを受け入れるのであれば、神の証しはなおのことです。神が御子についてなさった証し、これが神の証しだからです。 10 神の子を信じる人は、自分の内にこの証しを持っています。神を信じない人は、神を偽り者にしています。神が御子についてされた証しを信じないからです。 11 この証しとは、神が私たちに永遠の命を与えてくださったということです。そして、この命は御子の内にあります。 12 御子を持つ人は命を持っており、神の子を持たない人は命を持っていません。 13 神の子の名を信じるあなたがたに、これらのことを書いたのは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知ってほしいからです。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び: 今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 6-8節によると、「証しする３者」とは何ですか？また、それらの証しに共通する焦点は何ですか？なぜそれらは一致していなければならないのでしょうか？

2. 9節では、人間の証しと神の証しを比較しています。ヨハネは、私たちが人間の証しよりもさらに進んで神の証しを受け入れるべき理由を、どのように論じていますか？（6-9節）

3. 11-12節によると、神が私たちに与えてくださった証しの具体的な内容は何ですか？この「いのち」はどこに見出されるのですか？

4. 13節に基づくと、ヨハネの主な目的は何でしたか？彼は誰に向けて書いていますか？それが重要なのはなぜですか？

分かち合い: 話し合い

話し合い１

ヨハネがこの手紙を書いたのは、私たちが「今、この瞬間に」永遠のいのちを持っていることを「知る」ためです。武牧師は、そのいのちを「無駄（浪費）に」しないようにと私たちに促しました。

もし「永遠のいのち」が、単なる「天国への将来の切符」ではなく、今日のイエス様との親密な関係のことであるとするならば……。

今週、あなたの生活の中で「浪費するのをやめて」、イエス様と共に歩み始めたいと思う領域はどこですか？

話し合い２

日々、イエス様と自分を重ね合わせること（アイデンティティを一つにすること）で、あなた自身の過ちに対する見方や、他人の承認を求める心はどのように変わるでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。